

骨髄移植の円滑な橋渡し

ドナーが提供しやすい環境整備に関するご協力をお願い

日本骨髄バンク理事長

小寺良尚

こてら よしひさ



当法人は、白血病などの血液疾患の患者救済のため、1991年12月に公的骨髄バンクとして設立後、28年にわたり日本の骨髄バンク事業を推進している。日本骨髄バンクを通じてドナー(提供者)を求める患者は年間2000人以上、一方、2019年9月末現在のドナー登録者数は52万人を超え、年間移植数は1200例を数え、累計移植数は2万3000例に達している。

骨髄・末梢血幹細胞移植

骨髄・末梢血幹細胞移植とは、健康なドナーの造血幹細胞を移植し、造血機能を回復させる治療である。移植後、患者は正常な造血機能を回復し、提供ドナーもその能力を失うことはない。

骨髄移植は、骨髄(腸骨内に存在するスポンジ状の組織)のなかに多く含まれる造血幹細胞をドナーに全身麻酔をして注射器で吸引し、採取した造血幹細胞を患者の静脈へ点滴で注入する治療法である。

末梢血幹細胞移植は、通常末梢血(全身を流れる血液)にはほとんど存在しない造血幹細胞を、G-CSF(白血球を増やす薬)によって増加させて採取する方法である。採取前3〜4日間G-CSFを注射し、造血幹細胞が末梢血中に流れ出したところで血液成分を分離する機器を使い造血幹細胞を採取し、骨髄移植と同様の方法で患者に注入する。

骨髄・末梢血幹細胞移植のキーポイントはHLA型という白血球の型を一致させることである。HLA型は両親から受け継ぐので兄弟姉妹間では4分の1の確率で一致する。しかし親子ではまれにしか一致せず、非血縁者

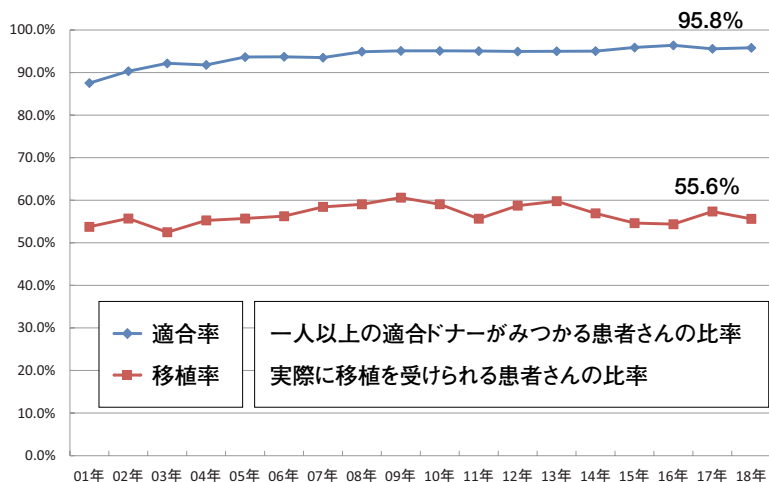
(他人)間では、数百から数万分の一の確率でしか一致しない。このため、日本骨髄バンクでは広く一般からドナーを募り、移植に向けて患者への橋渡しを行っている。骨髄バンクを介して移植を待つ患者は毎年少なくとも2000人を数える。骨髄・末梢血幹細胞移植は患者にとって大きな希望である。

骨髄・末梢血幹細胞採取の安全性については、日本骨髄バンクの認定を受けた病院の専門医が行い、ドナーの健康と安全を最優先し、これまで死亡事故や重篤な後遺症の例はない。

約55%の患者しか移植できない現状

ドナー登録は、年齢18歳〜54歳(提供は20歳〜)、体重が男性45kg以上、女性40kg以上の、健康で、提供について理解している方にお願いしており、献血ルームや保健所等で

図表1 国内患者のHLA適合率と移植率



※移植率は、年間の新規患者登録数に対する移植数(国内ドナー+海外ドナー)の割合

きる。その際にHLA型を調べるために血液を腕から2ml採血する。
ドナー登録後にHLA型が患者と適合すると、ドナーには提供意思と健康状態を確認する書類が届く。健康状態に問題がなければ病院に向き、医師とコーディネーターによる説明を受け、健康確認検査の採血を行う。複数いるドナー候補者から最終ドナーに選ばれ、家族を交えた最終同意面談、提供前の

健康診断と提供まで数回の通院と提供のための入院(3泊4日)が必要となる。肉体的以外に時間的、精神的な負担もドナーは強いられる。

これらの過程において、都合がつかない、などの理由で提供を断念するドナー側の事情が少なくない。

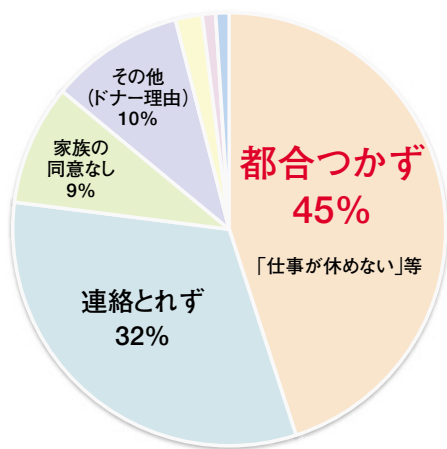
このため、2018年度には移植を待つ患者の約95%にドナーが見つかったものの、移植に至った患者は約55%だった。移植を受けて元気になった患者は「最新の設備の病院で、優秀な医師からの治療を受け、家族や友人からのたくさん温かい励ましをもらっても、骨髄を提供してくれたドナーがいなければ私はこうして生きていられなかった」と語る。1人でも多くの患者が1日でも早く移植を受けられる

よう、ドナーが提供しやすい環境整備をすることが急務である。

ドナーが提供しやすい環境整備に向け職場でも協力を

ドナーは、提供するまで10日前後仕事を休む必要がある。提供意思はあるものの、「休みが取れない」「周囲の理解が得られない」等のドナー側の理由で、ドナー候補者が見つかりながら移植を受けられない患者は少なくない。そこで、企業におかれては、ドナーにすることを希望する社員がボランティア休暇などを利用して円滑に提供ができるよう、特段の配慮をお願いしたい。日本骨髄バンクとしても上述のような提供意思を持ちながら負担の大きさから提供に至らないという、骨髄移植をめぐるマッチングの難しさを周知するとともに、ドナー休暇の推奨やすでにある特別休暇の柔軟な活用など具体的な働きかけを行っている。今年度からは専任職員を置き、直接企業に向いて内容説明を行うとともに、個別事情に合わせてきめ細かな対応ができるよう、支援体制を整えている。こうした周知、環境整備にぜひご協力をお願いしたい。

図表2 ドナーによるコーディネート終了理由(健康理由以外)(2018年度)



「仕事が休めない」等

ご質問・お問い合わせは、日本骨髄バンク(電話03-52280-8111、<https://www.jmdp-donor-special.jp/>)まで。